

テーマ	A. 京（みやこ）を学ぶ
科目コード	A007
科目名	政策科学特別実習1「京都の世界遺産 仁和寺」／PD
英文科目名	Policy Internship 1 (Ninna-ji Temple, a world heritage of Kyoto)
開講大学名	立命館大学
学内科目コード	52499
学内科目名	政策科学特別実習1（京都の世界遺産 仁和寺）
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350
担当教員	桜井 政成
開講期間	<p>※以下は予定。日程の変更がある場合には受講決定後、早急に連絡をする。</p> <p>◎5月22日(日)午後／授業外学習</p> <p>①8月4日（木）（3コマ）</p> <p>②9月15日（木）、16日（金）（4コマ）※宿泊あり</p> <p>③9月17日（土）（2コマ）</p> <p>④9月下旬～12月上旬(4コマ分+受講生内での打合せ)（受講生の都合に合わせる）</p> <p>⑤12月11日（日）（2コマ）※成果発表会 13:00～</p> <p><教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf</p>
単位数	2
開講形態	後期・秋学期
授業形式	対面授業(プラザ)
履修年次	1回生以上
会場	キャンパスプラザ京都、他
授業定員	30
単位互換定員	10
試験・評価方法	<p>【平常点評価】100%①授業は原則全回出席することで、成績評価対象とみなす。②出席していても積極的なプロジェクト参加が見られない場合には、警告の上、欠席扱いとする。③グループによる中間・最終発表の内容とそれへの貢献度合いも評価対象とする。④最終的に個人レポート（6千～1万字程度を予定）を提出。その内容を踏まえて成績を決定する。</p>
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	<p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p> <p>【志望理由書】 本科目受講希望者は、志望理由書（800字～1500字。氏名を入れてA4用紙に印刷）を提出すること。志望理由書の内容は自由ですが、①授業のどこに魅力を持ったかや、②自身の経験や学部での専門的学習をどのように活かせるか、あるいは③これから活かすことができるか、③授業内容についての問題意識やプロジェクトのアイデアなどを書いてもらえれば、選考及び今後の指導の参考になるのでありがたいです。</p>

◇所属大学によって、提出締切日時が異なりますので注意してください。

1) 立命館大学に所属の学生

立命館大学HPから最新のシラバスにアクセスし確認したうえで、志望理由書を作成・提出してください。

* 締切日時/4月6日(水) AM11時

2) 他大学に所属している学生

以下に指定のe-mailアドレス等を確認し、メール添付で送信してください。

①送付先、e-mailアドレス

ru-kyomu@ritsumeai.ac.jp

②送付時の留意事項

- ・タイトルは「コンソーシアム科目、仁和寺志望理由書」としてください。
- ・メール本文に、「所属大学」、「氏名」、「所属大学の学生証番号」を記載してください。
- ・提出様式はWord(ワードパッド)またはメモ帳とし、文頭に必ず「所属大学」、「氏名」、「所属大学の学生証番号」を付記してください。

③締切日時: 4月14日(木) 14時

【学生・教員間のコミュニケーションの方法】

授業外の連絡はメールにて行う。また受講生間の連絡も密にとる必要があるため、必要に応じてLINEやSkype、SNSツールなどを活用する。

【備考】

- ①受講学生は4月上旬頃の時期に自主的に仁和寺を訪れ、「御室桜」を觀賞しておくことを強く勧めます(御室桜は市内のソメイヨシノよりも遅めに開花するので、見頃の時期はインターネット等でこまめにチェックして下さい)。
- ②仁和寺には多くの外国人も訪れることから、英語を積極的に活用したい(上手でなくてもよい)学生の受講を歓迎します。
- ③本授業は授業外でも様々に時間を取ったり、他大学生との調整や、移動の手間が度々発生するなど、通常の講義や演習科目とは異なる負担があります。それを考慮の上で受講のこと。
- ④本科目受講希望者は、志望理由書(800字~1500字。氏名を入れてA4用紙に印刷)を提出すること。志望理由書の内容は自由ですが、①授業のどこに魅力を持ったかや、②自身の経験や学部での専門的学習をどのように活かせるか、あるいは③これから活かすことができるか、③授業内容についての問題意識やプロジェクトのアイデアなどを書いてもらえれば、選考及び今後の指導の参考になるのでありがたいです。

講義概要・到達目標

【授業の概要と方法】

仁和寺は1100年以上の歴史を持つ世界遺産です。国宝の本尊阿弥陀三尊像や金堂を初めとする多くの文化財が存在し、また御室桜や御室八十八ヶ所といった自然と伝統溢れる寺院です。本授業では、その魅力・価値をグローバル・ローカルに高め、そこで新たな「ご縁」を生み出せる可能性を探ります。授業では、学生自身や仁和寺の持つ「強み」を理解し、さらに、周辺に存在する学校、京福電鉄、宇多野ユースホステル等の、地域資源を理解することで、新たな企画の提案を考えます。

本授業での中心的な学習の視点は、地域開発の主流的な手法であるABCD(アセット・ベースド・コミュニティ・ディベロップメント)を学び、その手法を使いながら、個々の個人・団体・機関が持つ「強み」を理解し、それらを相互につなげることで生まれる新たな価値を考えるとあります。単に新たな企画を提案するだけでなく、学生がそこで担える役割を考え、そして可能ならば実際に試験的な取り組みを実施し、その結果の検証まで、授業の中でしたと考えています。したがって本授業はPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)でありながら、地域に貢献する中で学ぶSL(サービス・ラーニング)の性質も強く持っています。

夏期休暇期間に事前学習と調査、および試験的取り組みの準備を行い、10月以降に学生自身によるパイロット的企画を実施したいと考えています。

なお本科目受講希望者は、志望理由書（800字～1500字）を提出していただきます（詳細は「特記事項」を参照）。

【受講生の到達目標】

本科目では、地域活性化の一手法であるABCD（アセット・ベースド・コミュニティ・ディベロップメント）を活用し、仁和寺の魅力・価値がグローバル・ローカルに高まり、新たな「ご縁」を生み出せる企画を実施する可能性を探ります。授業では、①学生自身や仁和寺の持つ「強み」を理解し、さらに、②周辺に存在する学校、飲食店、京福電鉄、宇多野ユースホテル等の、地域資源を理解することで、③新たな企画の提案を考えます。さらにそれにとどまらず、そのアイデアに基づいた④試験的な取り組みを実現しその成果を評価することも目指します。

【授業外学習の指示】

最終的にプロジェクトを実施するにあたり、授業外でのミーティング等の時間が発生する可能性が高いので、そのために後期での予定を空けることが受講の条件の一つなる。

【参考になる WWW ページ】

適宜指示する。

講義スケジュール

※以下は予定。日程の変更がある場合には受講決定後、早急に連絡をする。

授業外学習 5月22日(日)午後

全体オリエンテーション(他科目との合同講義) 場所：キャンパスプラザ京都 第2講義室

第01回～03回 8月4日(木)

①調査の下見と計画づくり 場所：仁和寺および仁和寺周辺

1日間の調査を予定します。仁和寺の関係者からご案内頂いた(半日)あと、グループに分かれ、仁和寺内、および周辺の資源調査の計画を立てます。その際に、担当教員がABCDアプローチをレクチャーします。(3コマ)

第04回～07回 9月15日(木)～16日(金)

②フィールドワーク調査 場所：仁和寺および仁和寺周辺

2日間の調査合宿を予定します。1日は仁和寺内、および周辺の資源調査をし、夜、宿泊者調査をし、次の日に追加調査とまとめの作業をします。(4コマ)

第08回～09回

9月17日(土)

③インタビュー調査 → 調査まとめ

関連施設へのインタビュー調査を行います(京福電鉄、宇多野ユースホテル等を予定)。調査活動のまとめ(場所：キャンパスプラザ京都 第5演習室)。(2コマ)

第10回～13回 9月下旬～12月上旬(※受講生の都合に合わせる)

④企画の準備実施 場所：仁和寺周辺

学生提案に基づく企画を準備し実施します。(4コマ分+受講生内での打合せ)

第14回～15回 12月11日(日) 午後

⑤成果発表会&個人的ふり返り 場所：キャンパスプラザ京都 第2講義室

成果発表会：学びの成果を発表(1コマ、他科目との合同授業)

授業内容の個人的ふり返り。(1コマ)

※本授業は後期に認定される夏期集中科目として開講されるので、前期中の取り組みについては出席を強制できないが、オリエンテーションは受講上重要な意味を持つので、可能な限り出席のこと。
※場所は仁和寺と打ち合わせをし、御室会館内の会議室の利用が可能であれば、仁和寺内にて実施します。
※合宿の宿泊は御室会館、または宇多野ユースホステルを予定。
※受講生の費用負担…現地までの交通費(インターン先の活動住所地による)、宿泊費、その他現地での食事や交通費。

教科書

適宜指示する。

参考書

以下の「書名」、「著者」、「出版社」を参照

- ・「なぜローカル経済から日本は甦るのか GとLの経済成長戦略」、「富山 和彦」、「PHP新
 - ・「白熱講義 これからの日本に都市計画は必要ですか」、「蓑原 敬(著), 藤村 龍至(著), 饗庭 伸(著), 姥浦 道生(著), 中島 直人(著), 野澤 千絵(著), 日埜 直彦(著), 村上 暁信(著)」、「学芸出版社」
 - ・「サードプレイス」、「レイ・オルデンバーグ」、「みすず書房」
 - ・「アメリカ大都市の死と生」、「ジェイン・ジェイコブズ」、「鹿島出版会」
 - ・「忘れられた日本人」、「宮本 常一」、「岩波文庫」
- * その他、適宜指示する。